



栃木県商工会連合会
会長 薄井 正明

明けておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、令和8年の新春を健やかに迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。また、日頃より県商工会連合会ならびに各商工会の活動に対し、深いご



栃木県
知事 福田 富一

商工会会員の皆様、あけましておめでとうございます。年頭に当たりまして、私の所信を申し上げます。

昨年開催された大阪・関西万博では、デジタル技術を活用した参加型・体験型の本県展示ブースに、

理解とご支援を賜り、改めて厚く御礼申し上げます。

さて、昨年の中小企業・小規模事業者を取り巻く環境は、原材料費やエネルギー価格の高止まり、人手不足の深刻化、円安や米国の相互関税によるコスト増、さらには消費行動の多様化など、厳しい状況が続きました。加えて、物価上昇に伴う節約志向の高まりやデジタル化への対応の遅れ、資金繰りのひっ迫など、地域の事業者は多くの課題に直面した一年でもありました。

このような中、昨年10月に開催しました「商工会法施行65周年記念栃木県大会」において、地域に根差す事業者としての『三つの決意』を満

「商工会員の持続的発展なくして地域の持続化なし」

場一致で次のとおりご承認いただきました。

- 一、地域住民の生活を維持し、雇用と賑わいを創出し、地域経済を支える
- 一、事業を次世代へと承継し、技術や伝統、地域コミュニティを守り

は、私たち商工会員が地域に根差した事業を継続して展開していくことが不可欠です。

現在、地域経済を取り巻く環境は、投資や賃金を中心とした、30年ぶりの潮目の変化の時期にあると言われています。この変化を前向きに捉え、事業者が地域の強みや個性を活かした持続可能な取組を進めることが、これまで以上に重要になると考えております。特に、次世代を担う若手起業家、地域に新たな価値をもたらす女性・シニア層の活躍、多様な働き方への対応、デジタル技術の活用など、時代の潮流を踏まえた展開が求められています。

本年も、県商工会連合会と県内33

当初の目標を大きく上回る5万人の来場者をお迎えし、とちぎの豊かな自然や文化・歴史、食等の魅力をお伝えすることができました。引き続き、県内外への本県の魅力発信に取り組み、観光誘客の促進等を図って参ります。

一方、長期化する物価高騰や米

の策定を進めております。次期プランに掲げる本県の目指す将来像「共に創る人も地域も輝く、元気なとちぎ」の実現に向け、「人づくり戦略」、「産業成長戦略」など5つの重点戦略により、次の世代につなげる取組を積極的に進めて参りたいと考えております。

共に創る、人も地域も輝く、元気なとちぎの実現

国の関税措置につきましては、県民生活や県内経済への影響を最小限にとどめられるよう、国の総合経済対策に呼応し、関係機関とも連携を図りながら、迅速かつ積極的に対応して参ります。

現在、県では栃木県重点戦略「とちぎ未来創造プラン」に続く、令和8（2026）年度から5年間の県政の基本指針となる次期プラン

特に、官民連携による「栃木県人口未来会議」が、人口減少という「静かなる有事」を乗り越えるために取りまとめた「とちぎ人口減少克服宣言」や延べ64の取組項目から成る「栃木県人口減少対策マンガチャート」を踏まえ

供体制の充実・強化や災害等の危機事象に強い地域社会の構築等を図って参ります。

加えて、県立美術館、図書館及び文書館の3施設を、本県の文化振興の中核として一体的に再整備する「文化と知」の創造拠点整備事業につきましては、整備構想を

踏まえ、PFIを前提として、施設整備、管理・運営計画等について具体的な検討を進めているところであり、令和14（2032）年度中の開館を目指して、着実に推進して参ります。

社会が大きく変化する中におきましても、時代の潮流を的確にとらえ、県民の皆様と共に課題解決を図りながら、誰もが未来に夢や希望を抱き、豊かさや幸せを実感できるとちぎづくりを推進して参りますので、より一層の御理解と御支援をお願いいたします。

本年が皆様にとって希望に満ちた素晴らしい年となりますことをお祈り申し上げます。新年のごあいさついたします。

<p>理事 井戸道廣 〔粟野〕</p>  <p>笑顔で結ぶ 豊かなまちへ</p>	<p>専務理事 青木 剛 〔商工連〕</p>  <p>水は方円の 器<small>しがたが</small>に随う</p>	<p>副会長 大森順一 〔小山市おおいがわ〕</p>  <p>会員によりそい、 進化する商工会</p>	<p>副会長 佐藤金司 〔高根沢町〕</p>  <p>神馬にあやかり 商売繁盛を！</p>	
<p>理事 長 光博 〔下野市〕</p>  <p>頼れる、頼られる 商工会会員満足 度の向上</p>	<p>理事 手嶋崇夫 〔茂木町〕</p>  <p>飛躍に向け 天馬の如く のびやかに</p>	<p>理事 越沼哲士 〔湯津上〕</p>  <p>会員の明るい 未来を共に 拓きます</p>	<p>理事 郡司岳尊 〔塩谷町〕</p>  <p>共創で地域を 元気に</p>	
<p>監事 東泉清寿 〔矢板市〕</p>  <p>地域振興は 商工会から</p>	<p>理事 山田祐子 〔県女性連〕</p>  <p>時の縁で 喜びを つなげよう</p>	<p>理事 高根沢大地 〔県青連〕</p>  <p>りくりにょくきょうしん 戮力協心 ～仲間と共に～</p>	<p>理事 伊藤邦夫 〔藤岡町〕</p>  <p>地道に着実に 続けて飛躍に 繋げる</p>	
<p>西方 萩原幸一</p>  <p>小さくとも心を 一つに前進</p>	<p>うつのみや市 高橋栄一</p>  <p>今を変え、 未来を拓く 行動力</p>	<p>上三川町 鶴見秀昭</p>  <p>午午午、うまい が一番健康生活</p>	<p>監事 田中美雄 〔足利市坂西〕</p>  <p>賑わいの創出と 会員への 伴走支援</p>	
<p>にのみや 早瀬一男</p>  <p>地域経済の成長と 会員企業の発展</p>	<p>2026年 商工会長</p>  <p>今年の目標・抱負</p> 		<p>足尾町 菅 沼 清</p>  <p>地域と共に歩み、 未来の扉を拓く</p>	
<p>市貝町 石川陽一</p>  <p>成長を諦めない</p>	<p>野木町 寺内 浩</p>  <p>会員の維持、 確保に全力を!!</p>	<p>石橋 吉田宗司</p>  <p>地域活性化の 成果を上げる 年に！</p>	<p>壬生町 赤羽根 信行</p>  <p>持続可能な 地域社会の実現</p>	<p>益子町 塚本裕昭</p>  <p>会員企業の 「稼ぐ力」 を支援</p>
<p>氏家 池田章二</p>  <p>支え合いで 輝く地域を 実現！</p>	<p>都賀町 三室一男</p>  <p>共創による 地域力の向上</p>	<p>岩舟町 小倉久緒</p>  <p>飛躍の年！ 未来に向け チャレンジ</p>	<p>芳賀町 田川治道</p>  <p>LRTの活用と 地域商工業の 活性化</p>	<p>大平町 藤崎英治</p>  <p>地域活力の創出 に尽力する</p>
<p>黒羽 郡司昌尚</p>  <p>ハイパーローカルの 姿勢で臨む</p>	<p>那珂川町 小峰直人</p>  <p>気遣い 気配り 思いやり</p>	<p>那須烏山 中村恵之</p>  <p>謹賀新年 みんなで創る 那須烏山</p>	<p>喜連川 塚本正道</p>  <p>未来志向の体制 整備で会員支援</p>	
	<p>佐野市あそ 大関輝雄</p>  <p>会員加入促進と 創業の支援</p>	<p>西那須野 大倉 太喜生</p>  <p>商工会会員は連帯 する仲間である</p>	<p>那須塩原市 人見和夫</p>  <p>このままでいけな いと思っている</p>	

伴走支援の現場から

益子町商工会の販路開拓支援

益子町商工会は「会員さんのために何ができるか」を常に念頭に置き、販路開拓支援に取り組んでいる。今号では、関係団体や町、全国連の事業のうち、積極的に参画した3つの事業を中心に、会員事業所が販路開拓の機会を掴めるよう、奮闘する様子を紹介する。

① 益子焼関係団体振興協議会主催による「益子陶器市at恵比寿ガーデンプレイス」へのブース出展

9月20日、21日の2日間、「益子陶器市at恵比寿ガーデンプレイス」に商工会ブースを出展した。益子焼の魅力を広く発信することで、来町者の増加につなげることや窯業部会員の販路開拓が目的だ。



当日は首都圏を中心に、大勢のお客様が来場した



商工会ブースの棚にある作品などを熱心にごぞき込む来場者。照明等見せ方にも工夫を凝らした。

都圏の潜在的顧客の希望販売価格等を調査したことで、今後の県外での陶器市の開催において、価格設定の参考となる結果を得られた。さらには、恵比寿の陶器市に来場したお客様が、11月に開催した「益子秋の陶器市」にも来場するなど、町への集客にもつながり、期待通りの効果を実感した支援となった。

② 益子町未来共創拠点を活用したビジネスマッチング

益子町では渋谷スクランブルスクエアにある「SHIBUYA QWS（以下、渋谷キューズ）」

を「益子町未来共創拠点」として活用している。11月17日、商工会は町の協力を得て「渋谷QWSビジネスマッチング」を開催し、窯業部会の会員事業者と益子焼に関心のある18企業との商談の場を設け販路開拓を支援した。

会場では益子焼の作品を展示し、4事業者による公開プレゼンテーション等も行われ、自社の魅力を余すところなくアピール。参加した企業の担当者と商談が成立するなどの販路開拓につながった。



プレゼンテーション後は、自由に話せる雰囲気の中で商談が進められた

③ 全国連主催の販路開拓支援事業「バイヤーズワン」への申請支援

益子町商工会から「バイヤーズワン」では「益子のスープ屋Trois（トロワ）」が審査を通過



【全国商工会連合会賞】
益子のスープ屋Trois（トロワ）
「季節のスープ3種」



【審査員特別賞】
合同会社薄羽養鶏場
「たまご屋さんのフィナンシェ」

しバイヤートともに商品改良に取り組んだ。「バイヤーズワン」では「合同会社薄羽養鶏場」が審査員特別賞を、「益子のスープ屋Trois」が全国商工会連合会賞を受賞した。受賞後、商品に興味を持った複数のバイヤートとの商談が行われている。

担当者の加藤主任は、申請書の作成において事業者と経営分析を行い、商品の長所を審査員

に分かりやすい言葉で簡潔に伝えるようにアドバイス。審査通過後は、バイヤートとの今後の進め方に悩む会員さんを支援するため商品改良や商談の場に同席してサポートした。加藤主任は「受賞がゴールではなく、そこから先の継続的な支援が大切だと改めて実感した」と語った。

職員一丸となって継続的に取り組む

販路開拓支援は各担当者だけでなく、全員体制で取り組んでいる。恵比寿ガーデンプレイスでの陶器市は職員が交代して支援したことで会場の雰囲気など感覚的な面を含めて情報を共有した。また、渋谷キューズで



左から、黒子主任、大塚主任、谷島課長、加藤主任

のビジネスマッチングを担当した黒子主任は「これまで参加されなかった事業所も興味を持ってくださり、参加者が増えたことが嬉しい」と語るなど、継続的に取り組んできた成果が伺えた。バイヤーズルームを担当した加藤主任は「日頃から会員さんとの信頼関係を構築し、一歩踏み込んだ支援ができるよう心掛けていく」と語った。

きめ細やかな支援を行うためにも、職員が連携して情報を収集し、日頃から迅速に公式LINE等で発信している。大塚主任は「会員さんが必要としている情報を察知できるように日常の対話と傾聴を大切にしている」と語り、谷島課長は「職員はみんな忙しい中、一丸となって頑張ってくれていて誇らしい。これからも会員企業のための商工会として日々努力していく」と語った。

今後も商工会は会員企業の発展に寄与できるよう、経営発達支援計画の重点支援先の一つである益子焼事業者の販路開拓をはじめとした各種支援に、伴走型補助金等も活用しながら積極的に取り組んでいく。

地方銀行 フードセレクション2025



B to B形式でバイヤーに自社商品をPR

11月13日、14日の2日間、全国の地方銀行が共同で主催する「地方銀行フードセレクション」が東京ビッグサイトで開催された。本県では足利銀行が主催銀行となり、商工会地区からは佐野市あそ商工会を通じて(有)マルティー通商、御菓子処太田屋、佐野大黒屋の3事業所が出展し、バイヤーに対して商品の魅力を訴求した。



全国に向けてとちぎの商品をPR

全国商工会連合会主催の「ニッポン全国物産展」が11月21日から23日にかけて池袋サンシャインシティで開催された。

この事業は大消費地である都心で展示販売会を開催することにより、中小・小規模企業が開発した商品のPRや販売力の向上を目的としている。

全国から197事業所が出展し、本県商工会地区からは、(有)とん太ファミリー(益子町)、(有)天志古商店(壬生町)が出展した。また、全国各地の個性豊かなソフトドリンクを一堂に集め、会場内にて物産展事務局が代理販売する「ドリンクスタンド」も開



昨年度を超える約8万3千人の来場者が訪れた。

催され、本県商工会地区からは、金田果樹園(芳賀町)の商品が販売された。出展者は試食や対話により来場者に自社商品の魅力をPRした。

販路開拓支援事業 「バイヤーズルーム」・「バイヤーズワン」をご活用ください

全国商工会連合会では、販路開拓支援事業として「buyer's room(バイヤーズルーム)」と「buyer's one(バイヤーズワン)」を展開しています。県内会員企業のなかには、これらの事業を活用し、売上の向上に繋がった実績もあります。

buyer's room とは?

流通関係者等へのPR、商談希望バイヤーとのマッチングを目的に、「審査会型ビジネスマッチング」形式で開催。各賞の受賞により、商品の付加価値向上につながる。

R7年度 県内商工会地区受賞企業・商品紹介
(益子町商工会はp4に掲載)

【審査員特別賞】

那須烏山商工会
(株)グッドライフ
甘食 かけるあんこ「母あん」



【審査員特別賞】

喜連川商工会
浅野食肉(株)
「あさの豚ハンバーグ」



buyer's one とは?

第一線で活躍するバイヤーが支援し「売れる商品づくり」をサポート。審査を通過した商品を対象に、商品開発・改良から販路開拓まで一気通貫の支援を行う。

▶益子町商工会の益子のスープ屋 Trois は「まるごと人参のポタージュ」を出品し、バイヤーと一緒に商品改良に取り組んだ。



例年、募集時期が決まっています。最新情報は下記HPをご覧ください。

バイヤーズルームHP



バイヤーズワンHP





要望書の内容を基に、意見交換等を行った

▶知事に要望書を手交する薄井会長と佐藤副会長、大森副会長、青木専務理事



商工会法施行65周年記念「商工会栃木県大会」の大会決議による要望書を県と県議会に提出

11月13日、商工連薄井会長、佐藤副会長、大森副会長等は、10月28日に開催した商工会法施行65周年記念「商工会栃木県大会」の大会決議を受けて、知事及び県議会議長に要望書を提出した。

企業が抱える課題の解決と稼ぐ力の強化に向けての支援の拡充や、小規模補助金の確保、並びに広域支援体制の整備、さらに、老朽化が激しい商工会館の安全対策等が必要不可欠として、県の支援を求めた。



池田県議会議長(左から4番目)に要望書を提出した

女性部リーダー等セミナーを開催

県女性連(山田祐子会長)は12月3日、千葉県商工会連合会の大高衛副会長(山武市商工会長)を講師に招き、「企業を磨く商工会の活用方法」と題し、セミナーを開催した。

大高氏は知人の勧めで商工会に加入したものの、加入当初はどんな組織がよく分からず、存在意義を見出せずに過ごした時期もあった。

商工会を活用し更なる事業の繁栄を目指す

その当時、家業である醤油製造業の業績が優れず悩む日々が続いたが、青年部活動で知り合った仲間の助言で、経営指導員に相談を持ちかけ、何とか企業の危機を乗り越えた経験を持つ。商工会は、人を繋ぎ、時には仲間を支え合い、真正面から相談できる職員がいる。それを活かすかどうかは自分次第。女性部活動もアイデア次第で活発化できる可能性はあるとエールを送った。

参加者からは、「自身の経験談でとても説得力があった」、「ま



3団体合同で県と県議会に要望



知事に要望書を手交する薄井会長

12月1日、県内商工3団体が「地域経済活性化と中小企業・小規模事業者の成長・持続的発展のための要望書」を福田富一知事と池田忠県議会議長に提出した。

要望書は、商工連(薄井正明会長)のほか、県中小企業団体中央会(横倉正一会长)、県商店街振興組

合連合会(長島俊夫理事長)の連名によるもの。

県と県議会、商工団体との緊密な連携の下、「明日のとちぎ」を見据え、なお一層の支援施策の拡充・強化を求めるべく、中小企業・小規模事業者対策予算の拡充をはじめ、物価高騰対策及び適正な価格転嫁に向けた支援、米関税措置の影響を受ける事業者への支援等、11項目を要望した。

第65回
商工大会
全国大会

事業者の課題を共に見つけ、解決し、成長へと導くことが商工会の使命



全国大会では、6項目の大会決議が決定した



来賓挨拶をする高市早苗
内閣総理大臣

第65回商工会全国大会が11月20日、渋谷のNHKホールにて開催された。全国各地の商工会長や役員等が出席し、本県からは薄井正明商工連会長をはじめ、91名が参加した。

大会冒頭、森義久全国連会長は「地域が変わらなければ日本全体は変わらない。その中心に立つのが商工会である。私たちは、地域に根差した伴走支援の中核機関であり、事業者の課題を共に見つけ、共に解決し、成長へと導く。これ

が商工会の使命」と述べた。

続いて、来賓として出席いただいた高市早苗内閣総理大臣は「地域を支える中小企業・小規模事業者の皆様と共に、我が国の未来を切り拓くための政策を実行していくが、この効果を地域の隅々にまで行き渡らせるには、地域に密着して活躍する商工会の協力が不可欠」と挨拶した。

大会は、6項目の大会決議を採択した後、中小企業庁長官表彰、全国連会長表彰等が行われ、本県から役員功労者表彰など53名と、優良青年部として氏家商工会青年部、事業推進優良商工会等表彰では益子町商工会が表彰された。

(受賞者名は下記に記載)

大会決議

- 1. 中小企業・小規模事業者向け支援施策の大幅拡充
- 1. 地方創生実現に向けた支援施策の実施
- 1. 最低賃金の引き上げ等に伴う社会保険料等の負担軽減
- 1. 災害からの復旧・復興とリスク管理の強化
- 1. 小規模事業者の活動を後押しする税制・金融制度の整備
- 1. 小規模事業者を支える商工会の機能・組織力向上

晴れの表彰
53名・2団体

表彰基準日 令和7年3月31日(敬称略)

中小企業庁長官表彰

役員功労者

にのみや 副会長 上野 淑雄

〃 〃 監事 上野 裕

塩谷町 理事 金井 弘

〃 〃 監事 鈴木 正美

優良青年部

氏家商工会青年部

優良常勤役員

塩谷町 主事 廻谷てるみ

商工会連合会 主査 手塚 幸伸

全国商工会連合会長表彰

役員功労者

矢板市 理事 佐野 幸隆

〃 〃 理事 白石 盛道

うつのみや市 理事 高久 剛一

栗野 監事 大塚 順一

足尾町 理事 神山 洋子

茂木町 理事 石川 修子

〃 〃 理事 大兼 崇瑞

〃 〃 理事 高林 辰彦

〃 〃 理事 松山 拓也

壬生町 理事 篠原 弘樹

野木町 副会長 神谷 光一

〃 〃 理事 大高 和広

〃 〃 理事 中田 拓司

〃 〃 理事 岩波 辰雄

小山市おおいがわ 理事 長 仲久

〃 〃 理事 松本 悟

大平町 理事 植原 和信

〃 〃 理事 田村 浩昭

藤岡町 理事 石田 光一

〃 〃 理事 福島 鉄典

岩舟町 監事 松井 久

都賀町 理事 栃木 孝夫

〃 〃 理事 青木 国宏

塩谷町 理事 斎藤 俊雄

氏家 理事 小菅 哲男

高根沢町 理事 石川 征男

〃 〃 理事 見目 哲男

〃 〃 理事 黒崎 正芳

〃 〃 監事 加藤 昭志

那須烏山 理事 佐藤 正

黒羽 理事 菊池 正明

黒羽 監事 松本 清

〃 〃 理事 土田 陽吉

〃 〃 理事 平山 努

足利市坂西 理事 阿部 恵子

青年部役員功労者

益子町商工会青年部 副会長 山崎 純

矢板市商工会青年部 監事 漆原 邦和

女性部役員功労者

佐野市あそ商工会女性部 副会長 青木 彩季

優良常勤役員

にのみや 課長 齊藤 正雄

大平町 主任 鈴木 正宜

那珂川町 課長 細野 誠

〃 〃 主任 若色 由江

商工会連合会 主任 高橋 理恵

事業推進優良商工会等表彰

組織統一推進枠部門

会員増強運動

益子町商工会

厚生労働省、中小企業庁では、

最低賃金引き上げに伴う支援・後押しを強化しています

厚労省 HP ミラサポ plus



最低賃金引き上げを受けて賃上げに取り組む事業者向けに、各種助成金・補助金制度による支援を行っています。

(例) 業務改善助成金、キャリアアップ助成金、IT補助金、ものづくり補助金、省力化投資補助金（一般型）等

また、助成金と補助金を組み合わせてご利用いただくことも可能です ※同一の補助対象（設備等）に対する重複利用は不可

詳細は上記QRコード「厚生労働省賃金引き上げ特設ページ」、「中小企業ミラサポ plus」にてご確認ください。

令和8年1月1日施行

下請法・下請振興法が
取適法・振興法に変わります!



チェック
ポイント

法改正に伴い、下記のとおり、
名称変更・用語の見直しもあります。

下請法→**中小受託取引適正化法(取適法)**

親事業者→**委託事業者**

下請振興法→**受託中小企業振興法(振興法)**

下請事業者→**中小受託事業者**

※取適法・振興法の
詳細は、公正取引委
員会（取適法）、中小
企業庁（振興法）の
HPをご確認ください。

取適法5つの改正ポイント

- ❶ 協議に応じない一方的な価格決定の禁止
- ❷ 手形払等の禁止
- ❸ 適用基準に従業員基準を追加
- ❹ 対象取引に特定運送委託を追加
- ❺ 面的執行の強化

振興法4つの改正ポイント

- ❶ 多段階の事業者が連携した取組への支援
- ❷ 国・地方公共団体の責務規定新設
- ❸ 主務大臣による権限強化「勸奨」
- ❹ 適用対象の追加

公取委
HP



中企庁
HP



申込期限
令和8年2月13日

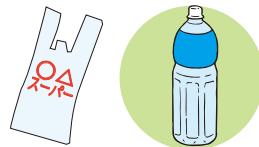
容器包装のリサイクル ~令和8年度の再商品化委託申込受付中~

容器包装リサイクル法(以下「法」)により、「容器」「包装」を使って商品を売ったり、「容器」をつくっている事業者は、再商品化(リサイクル)の義務を負う可能性があります(但し、**小規模事業者は除きます**)。

下記について今一度ご確認ください。

①【再商品化(リサイクル)の義務】を負う特定事業者に該当するか否か

公益財団法人日本容器包装リサイクル協会コールセンター (TEL: 03-5251-4870)にご相談ください。



②「特定事業者」でありながら、再商品化義務を履行していない場合

平成12年4月の「法」の完全施行時まで遡及して義務を履行していただく(再商品化委託申込を行っていただく)必要がありますのでご注意ください。

■詳細はこちらをご覧ください：協会ホームページ [URL: https://www.jcptra.or.jp](https://www.jcptra.or.jp)

“リサイクル協会”で検索いただくと、再商品化委託申込に関する情報を掲載しています。



HPIはこちらから